

女性・若手の研究者 その活躍が拓く未来のために

—ダイバーシティ推進へのご支援のお願い—

千葉大学では、これまでに女性研究者が活躍できる環境整備を進めてきました。
今後はさらに支援の枠を広げ、女性研究者だけでなく、誰もが活躍できるキャンパスづくりを強化するために、
本学のダイバーシティ推進へのご支援をお願いします。

達成 目標

事業目標 令和7年度末までに、次の目標達成を目指しています。

上位職

(教授・准教授・講師)
女性研究者比率

25%以上

女性研究者

新規採用比率

35%以上

役員等

の女性比率

20%以上



ご寄付の主な使途について



若手研究者への 英文校閲経費支援

支援額 1件あたり5万円

博士後期課程大学院生・若手女性研究者が国際学会誌等に英語で論文を投稿する際の校閲経費を支援し、国際的に活躍できる研究者を育成します。



研究支援要員配置制度

支援額 1名あたり20万円

妊娠中又は育児や介護の負担を抱えている研究者に対して、研究支援要員を配置することで、研究の継続や研究時間の確保を支援します。

➡ 利用者の声：裏面をご覧ください。



女性研究者の海外渡航支援

支援額 1名あたり20万円

女性研究者が海外の研究機関等に滞在し、研究活動に専念できるよう、代替教員雇用経費等を支援し、研究者としてのスキルアップを支援します。

メッセージ

誰もが生き生きと活躍できる千葉大学へ、応援よろしくお願いいたします。

一人ひとりの人権が尊重され、それぞれが生きやすい社会を形成していく責任が大学にはあります。そのために、まず大学の教員一人ひとりが大切にされ、自由に研究できる環境が保障されなければなりません。そうして獲得された知が学生の教育等を通じて地域社会に還元されることで、社会の多様性（ダイバーシティ）が促進されるのです。大学の多様性に満ちた知の営みを支えることで、誰も取り残さない社会の形成にあなたも参画できるのです。



理事
(ダイバーシティ推進)
後藤 弘子



副学長・
ダイバーシティ推進部門長
正木 治恵

SDGsの【ジェンダーの平等を実現しよう】に対応した活動を推進し、千葉大学の女性管理職比率は21.5%で横ばいであるものの、男性育休取得率は28.8%と昨年から10%増加しました。令和5年6月に公布された性的マイノリティに関連する法律の公布に伴い、性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に寛容な大学キャンパスの実現にも取り組んでまいります。引き続き皆さまの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

制度利用者の声

男性の育児・介護支援も行っています。



大学院看護学研究院
講師 雨宮 歩 先生

本制度の支援のおかげで時間が必要な臨床調査を大学院生に依頼することができ、そのぶんの時間で他の研究・教育等にも取り組みながら、保育園からの急な呼び出しや子どもの行事等も対応することができました。精力的に外部資金獲得にも取り組むなど様々なチャレンジもでき、今後につながる学びをたくさん得ることができたと感じています。研究支援要員の院生たちにとっても臨床における調査を学ぶ機会となり、成長につながったと考えています。



大学院人文科学研究院
准教授 立花 幸司 先生

本制度を利用して、収集はしたものの整理に多くの時間を必要としていた膨大な研究資料を研究支援要員の方に整理していただきました。そのお陰で、研究の基礎となる作業を進めることができました。本制度を利用できたことで、配偶者の出産をサポートするための時間や、産後は新生児および上の子らの育児や家事のための時間を確保しつつ、研究成果に漕ぎ着けられました。コロナ禍で不規則に休校や休園になりがちな環境でしたので、大変助かりました。

ご寄付による特典

本学への寄付額に応じて、顕彰等を行わせていただくとともに、本事業へのご寄付を頂いた皆様には、本事業独自の以下の特典をご用意しております。

ダイバーシティ推進部門で実施する
各種イベントに無料でご招待いたします。

ダイバーシティ推進部門で発行している冊子、
ニュースレター等、本学のダイバーシティ推進
部門の活動に関する情報をお送りいたします
(年1回)。

お申込み方法
・
連絡先

クレジットカードの場合は、右記のQRコードからお申込みいただけます。
その他、振込用紙によるお申込みも用意しております。

国立大学法人 千葉大学 運営基盤機構 ダイバーシティ推進部門
〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

TEL&FAX: 043-290-2020 E-mail: diversity-office@chiba-u.jp

